



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,825	8.4	314	2.4	348	15.5	350	25.2
2021年3月期第1四半期	4,449	10.5	306	21.6	412	8.8	279	10.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 397百万円 (9.4%) 2021年3月期第1四半期 362百万円 (372.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	13.05	
2021年3月期第1四半期	10.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	23,036	18,443	79.9
2021年3月期	23,475	18,246	78.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 18,415百万円 2021年3月期 18,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		11.00	11.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	2.1	1,300	9.5	1,500	15.3	1,000	16.6	37.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	29,748,200 株	2021年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,896,283 株	2021年3月期	2,896,189 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	26,851,941 株	2021年3月期1Q	26,852,180 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により東京都をはじめとして緊急事態宣言が発出されるなか、極めて厳しい状況で推移いたしました。6月の緊急事態宣言解除後も感染力の強い変異株の影響により感染者数が増加に転じ、緊急事態宣言が再発出されるなど、収束が見通せない状況が続いております。

精糖業界においては、砂糖消費が減少傾向にあるなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でさらに消費が落ち込み、厳しい販売環境が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,825百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益314百万円（同2.4%増）、経常利益348百万円（同15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は350百万円（同25.2%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がより大きかった前年同期と比べ、販売数量は増加し、増収となりました。しかしながら、利益面では、原材料コストが大きくなったことにより、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高2,626百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益279百万円（同25.7%減）の増収減益となりました。

#### ② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品としての国内及び海外の販売増加により、前年同期比で増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ㈱は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のなか、前年同期並みの販売を確保することができました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高1,981百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益150百万円（同106.8%増）の増収増益となりました。

#### ③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高143百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益133百万円（同16.6%増）と減収増益となりましたが、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

#### ④ その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心であります。業績は売上高73百万円（前年同期比16.6%増）、営業損失0百万円（前年同期 営業損失2百万円）と改善いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、23,036百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.7%減少し、10,141百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.4%減少し、12,895百万円となりました。これは主に「その他」に含まれるその他の投資の減少等によるものであります。

### ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ12.5%減少し、3,180百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ11.5%減少し、1,412百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

### ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.1%増加し、18,443百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、当初計画に対してプラスで推移しております。2021年4月30日付け公表の2022年3月期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響を加味して作成しており、現時点においては2021年4月30日付け公表の連結業績予想を変更するまでには至っていないと判断しております。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,667,721	2,733,018
受取手形及び売掛金	2,800,434	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	2,610,317
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	1,851,750	1,786,700
仕掛品	99,488	267,826
原材料及び貯蔵品	638,827	1,230,463
その他	1,177,944	1,214,732
貸倒引当金	△1,304	△1,914
流動資産合計	10,534,862	10,141,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,353	345,879
機械装置及び運搬具（純額）	201,776	218,413
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	15,582	12,092
その他（純額）	109,598	103,596
有形固定資産合計	3,194,747	3,207,418
無形固定資産		
のれん	2,716	-
その他	69,800	63,670
無形固定資産合計	72,516	63,670
投資その他の資産		
投資有価証券	7,406,626	7,512,392
長期貸付金	1,840	1,788
関係会社長期貸付金	1,792,800	1,792,800
退職給付に係る資産	36,672	45,443
その他	454,660	284,957
貸倒引当金	△19,078	△13,126
投資その他の資産合計	9,673,521	9,624,255
固定資産合計	12,940,785	12,895,344
資産合計	23,475,647	23,036,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,116,918	1,069,862
短期借入金	1,281,260	1,293,440
未払法人税等	322,732	17,360
賞与引当金	116,878	60,556
その他	795,145	739,400
流動負債合計	3,632,935	3,180,619
固定負債		
長期借入金	329,342	250,000
資産除去債務	76,885	77,124
その他	1,189,758	1,084,971
固定負債合計	1,595,986	1,412,096
負債合計	5,228,921	4,592,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	13,460,462	13,509,994
自己株式	△717,257	△717,309
株主資本合計	16,317,009	16,366,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,055,391	2,024,966
為替換算調整勘定	21,656	49,012
退職給付に係る調整累計額	△26,088	△24,746
その他の包括利益累計額合計	2,050,959	2,049,233
非支配株主持分	△121,242	28,052
純資産合計	18,246,726	18,443,774
負債純資産合計	23,475,647	23,036,490

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,449,625	4,825,153
売上原価	3,226,909	3,698,733
売上総利益	1,222,715	1,126,419
販売費及び一般管理費	915,922	812,197
営業利益	306,792	314,222
営業外収益		
受取利息	7,757	7,173
受取配当金	36,020	39,832
為替差益	51,274	-
持分法による投資利益	5,996	17,652
その他	6,506	14,845
営業外収益合計	107,555	79,504
営業外費用		
支払利息	1,567	3,498
為替差損	-	41,623
その他	0	8
営業外費用合計	1,567	45,129
経常利益	412,781	348,597
特別損失		
固定資産除却損	431	-
特別損失合計	431	-
税金等調整前四半期純利益	412,349	348,597
法人税、住民税及び事業税	113,213	8,468
法人税等調整額	19,984	△50,902
法人税等合計	133,198	△42,434
四半期純利益	279,151	391,031
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△631	40,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,782	350,402

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	279,151	391,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,693	△30,425
為替換算調整勘定	△68,496	35,060
退職給付に係る調整額	2,501	1,342
その他の包括利益合計	83,699	5,977
四半期包括利益	362,851	397,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,611	354,344
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,760	42,663

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は104,266千円減少し、売上原価は2,203千円減少し、販売費及び一般管理費は102,062千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は5,498千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,387,898	1,849,748	148,895	63,083	4,449,625	—	4,449,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,205	—	1,791	5,088	9,086	△9,086	—
計	2,390,104	1,849,748	150,687	68,172	4,458,711	△9,086	4,449,625
セグメント利益 又は損失(△)	376,012	72,706	114,168	△2,977	559,910	△253,117	306,792

(注) 1 セグメント利益の調整額△253,117千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	2,626,794	—	—	—	2,626,794	—	2,626,794
食品添加物	—	39,812	—	—	39,812	—	39,812
機能性食品	—	1,870,008	—	—	1,870,008	—	1,870,008
切花活力剤	—	71,668	—	—	71,668	—	71,668
製パン等	—	—	—	73,573	73,573	—	73,573
顧客との契約から 生じる収益	2,626,794	1,981,489	—	73,573	4,681,858	—	4,681,858
その他の収益	—	—	143,295	—	143,295	—	143,295
外部顧客への売上高	2,626,794	1,981,489	143,295	73,573	4,825,153	—	4,825,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,802	—	1,489	6,713	10,006	△10,006	—
計	2,628,597	1,981,489	144,784	80,287	4,835,159	△10,006	4,825,153
セグメント利益 又は損失(△)	279,281	150,325	133,174	△780	562,000	△247,777	314,222

(注) 1 セグメント利益の調整額△247,777千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「精糖」の売上高は102,662千円、「機能性素材」の売上高は1,604千円それぞれ減少しております。なお、「精糖」「機能性素材」のセグメント費用が同額減少するため、セグメント利益に与える影響はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。